

2025 年 1 月 29 日

キヤノン電子株式会社

2024年12月期決算説明会 質疑応答まとめ

開催日時：2025 年 1 月 29 日 15:45～16:25

Q1. 今回決算説明会を開催した背景を確認したい。

A1. 株主や機関投資家、アナリストといった関係者との関係をより密にすることの重要性を改めて認識し、本説明会を通して弊社についての理解を深めていただきたいという思いから今回説明会を実施しました。今後、四半期ごとに実施する予定です。

Q2. キヤノン INC との親子上場について考えを教えてください。

A2. 引き続きキヤノン電子としての独立性の確保に努め、少数株主の利益を保護するという役割を果たしていきたいと考えています。

Q3. 第4四半期を前年と比較した際に利益が落ちている要因を確認したい。

A3. 2023 年は価格調整等の特殊要因が 4Q に実施され利益改善に寄与しました。2024 年はそのような特殊要因がなくなり、通常の利益水準に戻っています。

Q4. 防衛省との契約は 2025 年度の収益への影響がありますか。

A4. 防衛省への納入は 2026 年の予定であるため、2025 年度に直接の損益影響はありませんが、今年度は翌年の納入に向けての生産活動により仕掛在庫が増加する予定です。

Q5. CIPA*の統計によると2025年度のカメラ見通しは堅調のようだが、キヤノン電子ではどう捉えているか。

*CIPA:カメラ映像機器工業会

A5. 当社はカメラ本体を生産はおこなっておりませんので市場情報からの考察になりますが、2025年度も受注は好調に推移するとみています。

Q6. 2025年度のカメラ関連部品の見通しについて教えてください。

A6. 2025年度のカメラ関連部品について、シャッターユニット、絞りユニット、交換レンズともに伸長すると見通しています。

Q7. トランプ新大統領の政策やその他の地政学リスクの影響が、2025年の業績にどの程度影響すると考えていますか。

A7. 関税リスクは影響するかもしれないが、それは他社も同様であると考えています。地政学リスク回避による生産体制の再構築は、当社に対しても好影響を与えるとみています。

Q8. 2024年に発生したカメラ関連部品の在庫調整の影響は今年も残りますか。

A8. 在庫調整は2024年で解消され、2025年への影響は無いとみています。

Q9. LBP 関連事業の2025年の見通しを教えてください。

A9. レーザースキャナーユニットは横ばい、LBP 本体は新製品効果で増加する見通しです。

Q10. LBP 関連事業でキヤノンの集中調達等は実施されていますか。

A10. キヤノンのグローバル調達を実施しており、主要部品についてはスケールメリットを活かした調達活動を行っています。

Q11. レーザースキャナーユニットはキヤノン以外にも販売していますか。

A11. キヤノン以外には販売していません。

Q12. 2025 年見通し上での為替レートの設定を教えてください。

A12. 150 円/USドル、160 円/ユーロで設定しています。

Q13. キヤノン電子の為替レートの変化は利益へどの程度影響しますか。

A13. 輸出額・輸入額に大きな差異はないため、為替変動による感応度は高くありません。

Q14. 2025 年度の持分法投資損失は 2024 年から変化はありますか。

A14. 引き続き持分法投資損失は見込んでいますが、損失幅は縮小していく見通しです。